

# 市議会だより

しみず たいが  
題字：清水 大我さん（江津工業高校1年）



撮影者 山根兼三郎

都野津地区敬老会・のぞみ保育園児によるダンス

2013.11  
No.117

## 9月定例市議会報告

◆議会の動き・審議結果	2
◆予算審査	3・4
◆常任委員会審査	5
◆議決結果・本会議討論	6・7
◆行政に問う（一般質問）	8

平成25年  
9月(第4回)定例会日程

9月2日	本会議	(議案上程・提案説明・質疑・討論・採決) (議案上程・提案説明・質疑・委員会付託) (決算特別委員会)
5日	本会議	(陳情・質疑・委員会付託) (一般質問)
9日	委員会	(総務文教委員会・建設厚生委員会)
11日	委員会	(予算委員会)
20日	本会議	(議案上程・提案説明・質疑・討論・採決) (委員長報告・質疑・討論・採決)

# 9月議会定例会

平成25年度第3回議会臨時会が、7月25日開催され、市長提出議案5件が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

また、平成25年度第4回議会定例会が、9月2日から20日までの19日間の日程で開かれ、平成25年度補正予算を初め、市長提出議案31件、陳情1件が審議され、継続審査2件を除き、原案のとおり可決されました。

9月議会定例会は8月23日から大雨による災害の直後であったため、市執行部においては、災害対応に傾注してもらうため、一般質問は災害について質問する2人の議員に絞りました。また、今議会に上程された24年度決算審査は、災害後の混乱で現地調査が困難なことから継続審査とし、審査の時期を遅らせ災害現場が多少でも落ち着きを見せたところで審査することになりました。



市執行部の出席は最小限で開催した9月定例会

【7月臨時会】

●市長提出議案5件

- ・承認議案3件
  - ・一般議案1件
  - ・報告議案1件
- いずれも承認・原案可決しました。

【9月定例会】

●市長提出議案31件

- ・報告議案1件
  - ・承認議案1件
  - ・条例議案3件
  - ・一般議案2件
  - ・予算議案13件
  - ・認定議案10件
  - ・同意議案1件
- 陳情1件
- 条例議案1件、一般議案1件、認定議案10件、陳情1件が継続審査となったほかは、いずれも承認・原案可決・同意しました。
- 教育委員会委員の任命については、福田市子氏の任命に同意しました。

## 豪雨災害お見舞い

江津市議会議長

河野正行



この度の豪雨災害で、被害を受けられました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

去る8月23日夜半から降り続いた大雨は、25日にかけて総降水量499.5ミリ、24日未明には1時間の最大降水量87ミリを記録いたしました。こうしたきわめて切迫した状況の中で、24日午前3時18分、市内全域に避難勧告が発令されました。これを受け、各地区消防団や自治会長さんを初め関係者の皆様方が、各地域の住民に対して適切な情報を伝達され、住民の方々が迅速かつ冷静に避難行動をとられたことが、人的な被害がなかったことにつながったと思います。危機的な厳しい状況の中で避難活動をしていただきました皆様に心より感謝申し上げます。

また、こうした状況下において、国土交通省（緊急災害対策派遣隊TEC-FORCE）、島根県、江津警察署、消防本部、江津市消防団、中国電力等からの派遣、日本水道協会島根支部を通じての給水活動、谷住郷における排水ポンプ車の出動、島根県からの救援物資の提供、被害地域住民の救援活動と被害状況確認のための防災ヘリコプターの出動、江津市建設業協会、江津市管工業組合、江津市衛生組合等など、支援活動にご協力をたまりました関係機関に対しましても心より感謝申し上げます。

今後、江津市議会といたしましても江津市の早期の復旧・復興をめざし、田中市長と一体となって、全力を傾けて参りますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。豪雨災害のお見舞いとさせていただきます。

### 《承認》一般会計補正予算（5号）

<b>2 億 5,190 万 4,000 円増額</b>	内容 平成 25 年 7 月 30 日からの大雨による災害復旧事業に伴う補正を行うもの。
補正後の予算総額 <b>150 億 2,306 万 1,000 円</b> (参考) 昨年度同月予算総額 144 億 7,590 万 9,000 円	

### 《原案可決》一般会計補正予算（6号）

<b>3 億 8,576 万 8,000 円増額</b>	内容 国の経済対策による「地域の元気臨時交付金」の交付額が確定したことから、これを活用した事業の追加を行ったほか、済生会江津総合病院への支援など、緊急を要し、早急な予算措置が必要な経費について補正を行うもの。
補正後の予算総額 <b>154 億 882 万 9,000 円</b> (参考) 昨年度同月予算総額 142 億 6,088 万 9,000 円	

### 《原案可決》一般会計補正予算（7号）

<b>23 億 9,007 万 6,000 円増額</b>	内容 平成 25 年 8 月 23 日・24 日の大雨と、9 月 2 日の大雨による災害復旧事業に伴う補正を行うもの。
補正後の予算総額 <b>177 億 9,890 万 5,000 円</b> (参考) 昨年度同月予算総額 142 億 6,088 万 9,000 円	

### ～平成 25 年度 9 月補正予算（第 6 号）の主要事業～

事業名	予算額	事業の概要
地域介護・福祉空間整備等・推進事業	5,010万5,000円	平成 25 年度中に施設整備を行う事業者に補助、また既設の地域密着型サービス事業所が行うスプリンクラー等の設置に対して、助成を行うもの。
保育士等処遇改善臨時特例事業	902万2,000円	保育士の人材確保対策の一環として、保育士の賃金改善に取り組む私立保育所へ資金の交付をおこなうことにより、保育士確保を進めるもの。
地域医療支援対策事業	3,269万2,000円	済生会江津総合病院の医師・看護師不足を補足する取り組みに対して、財政支援をすることにより、地域医療の維持、確保を図るもの。 ・周産期医療確保対策事業 ・救急勤務医支援事業 ・看護師等確保対策事業（派遣看護師の配置、看護助手の増員配置、病棟クラークの配置）
予防接種事業	250万円	妊婦の感染予防を強化し、赤ちゃんを守るための緊急対策として、風疹抗体検査費用及び予防接種費用の助成を行うもの。
森林整備加速化・林業再生事業	2,850万円	間伐や森林病虫害防除、路網整備等を実施するもの。 ①里山再生対策事業 ②林内路網整備事業
企業立地推進事業	300万円	企業立地推進事業のため、工業団地内の環境整備を行う。江津工業団地にバイオマス発電所が立地されることに伴い、誘致に関する環境整備として、平成 25・26 年度において、進入路を島根県企業局と江津市がそれぞれ整備するもの。今年度は測量設計、来年度に用地取得と道路整備を実施。

～平成 25 年度 9 月補正予算（第 6 号）の主要事業～

※前頁から続き

事業名	予算額	事業の概要
商業活性化支援事業	1,333万4,000円	地域経済の活性化と商業の振興に寄与することを目的とし、地域商業機能の維持・向上につながる民間事業者の取り組みを支援するために補助金を交付するもの。 ①空き店舗活用事業（5件） ②商業環境施設事業（1件） ③中山間地域商業機能維持・向上事業（1件）
橋梁長寿命化事業	1,300万円	平成 22 年度に策定した江津市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の補修を実施するもの。 ①水尻橋（都野津敬川中央線）補修設計 ②1号橋（市山下乡3号線）補修設計 ③和木洋橋（江津敬川海岸線）高欄補修工事
通学路整備事業	5,060万円	平成 24 年度に実施した通学路点検により、安全対策が必要となった箇所について対策を実施し、通学児童の登下校中の事故防止を図るもの。 ①浅利中央線道路拡張 ②高角団地幹線側溝改修、小田1号線歩道設置、先折居住宅線側溝改修、宮山団地幹線区画整備ほか
都市公園整備事業	1,000万円	昨年度のスコアボード整備に続き、機能上大きな支障のあるバックネット等を改修することにより、野球場への大規模大会誘致を図るもの。

予算審査内容

質疑

**問** 地域介護・福祉空間整備等・推進事業の施設整備補助について、各施設の入居料など利用者の負担額がいくらなのか。

**答** 極めて細かい数字のため、すぐには対応出来かねる。

**問** 周産期の医師が増員されるのか。

**答** 常勤医と非常勤医の経費差額を補てんするもので、医師は増えない。

**問** 経営改善を目的としての補助だが、済生会自身の経営改善・改革は行われているのか。

**答** 済生会でも改善に取り組んでいる。経営悪化の要因の一つとして看護師の流出があるが、院内のワーキングチームで看護師の確保を検討している。

**問** 空き店舗活用はどこでやるのか。

**答** 現在、空き店舗活用事業は江津駅前あけぼの通りの2店舗とグリーンモール内の1店舗が予定されている。

**問** 中山間地域商業機能維持・向上事業について、移動販売に必要な車両や設備取得への補助をするとのことだが、この移動販売には地区の制限がないため、既存の小売店の生活を脅かすことにならないか。

**答** 現実として市内には日々の買い物に困っている地区があり、消費者サービスの観点からも移動販売への補助は必要と考える。ただし、既存商店を圧迫しないように指導は行う。

**問** スクールソーシャルワーカー活用事業が37万円の減額になっている。県の委託事業が廃止になった為との説明だが、必要であるなら何かほかの考えがあるのか。

**答** スクールカウンセラー事業等で対応する。

反対意見

意見

質疑に対して明確な答弁がなく、移動販売の補助については過疎対策に責任を感じてないように思える。またスクールソーシャルワーカー活用事業の減額については、必要だが県が減らしたので減らしたという説明であり、とても賛成できない。

見

賛成意見

この予算審査にあたっては豪雨災害対応のため部長以上での対応であるが、この内容で理解できる。豪雨災害前に策定した補正予算案であり着実に進めていただきたい。

常任委員会  
審査内容

総務文教委員会

委員会に付託された  
条例議案1件、一般議  
案1件について審査を  
行い、いずれも原案の  
とおり可決すべきもの  
と決した。

条例議案

◆職員給与に関する  
条例の一部を改正する  
条例制定について

Ⅱ内容Ⅱ

平成25年4月より3  
年間、財政健全化のた  
め国の給料表に合わせ  
た職員給与の減額措置  
を行っており、今回期  
末勤勉手当も国の支給  
率に合わせて5パーセ  
ント引き上げるもの。

【委員質問】

問 4月に大きな減額  
をしたのに、この時期

に上げるのはチグハグ  
ではないか。

答 3月時点で同時に  
検討していたが、労使  
協議で給与カットを先  
に進めることとなった  
ため、期末勤勉手当の  
変更は今回の提案とな  
った。

問 県内他市の状況は  
どうか。

答 本市のように3年  
間減額という例はな  
い。ほとんどの市が単  
年度限りの減額で、な  
かにはカットの取り組  
みがない市もある。

一般議案

◆新市建設計画の変更  
について

Ⅱ内容Ⅱ

東日本大震災の発生  
を受けた法改正で、合  
併特例債を使える期限  
が5年間延長された。  
そのため、合併特例債  
の活用を前提としてい  
る新市建設計画の計画  
期間を平成31年度まで  
延長するもの。  
また、桜江の消防庁

舎建て替えを想定した  
建設事業の追加などを  
行うもの。

【委員質問】

問 消防庁舎建設事業  
は新たに記載された  
が、この度の豪雨災害  
を受けた対応は今後盛  
り込まれていくのか。

答 もともと計画にあ  
る「安全で快適な生活  
環境づくり」の中で対  
応できる。必要なもの  
は取り組む。

問 計画にある26年度  
の目標人口2万750  
0人に変更はないのか。

答 目標の変更はしな  
い。

問 計画が延長される  
のに、27、31年度の目  
標人口がない。目標が  
なくて計画と言える  
か。

答 実現するしないは  
別として31年度までの  
目標として取り組む。

問 新市建設計画には  
財政計画も含まれるが  
目標人口が達成できな  
ければ財政破たんもあ  
りうる。誰が計画の責

任をとるのか。

答 目標人口は計画当  
初のもので今回は混乱  
を招くため修正してい  
ない。責任をとるとら  
ないではなく、目標達  
成を目指す。

【反対討論】

目標も不明確な計画  
であり、誰も責任を取  
らないような計画であ  
るので反対。

【賛成討論】

全体に納得できる説  
明であり、防災減災対  
策についても柔軟に対  
応できるとされている  
ので賛成。

建設厚生委員会

委員会に付託された  
陳情1件、条例1件に  
ついて審査を行い、い  
ずれも継続審査となっ  
た。

条例議案

◆議案第59号 江津市  
廃棄物の処理及び清掃

に関する条例の一部を  
改正する条例制定につ  
いて

Ⅱ内容Ⅱ

ごみ排出量の増加傾  
向の中、ごみ処理施  
設の維持・延命など、  
将来にわたり廃棄物  
の適正な処理に資す  
るため、一般廃棄物  
処理手数料の改定を  
行うもの。

【審査経過】

来年度4月からの  
実施を目指すゴミ袋  
料金の値上げに関す  
る条例改  
正案につ  
いて、委  
員会では  
「買った  
ゴミ袋が  
(猶予期  
間後に)  
使えなく  
なること  
は、市民  
の理解を  
得るのが  
難しい」  
が、ゴミ

県内8市のごみ袋とごみ券1枚あたりの単価

	可燃物指定袋		不燃物指定袋	
	大	券	大	券
安来市	45	500	35	500
松江市	40	無料	19	無料
雲南市	44	—	42	—
出雲市	50	1,000	50	1,000
大田市	50	—	50	500
浜田市	42	250	42	250
益田市	60	120	50	120
江津市	30	30	30	30

江津市廃棄物の処理及び清掃に関する条例 新旧比較

種	類	現行	改正後
		ごみ袋	小袋 15円
	中袋	20円	30円
	大袋	30円	45円
ごみ券		30円	100円

減量の啓発になる」な  
ど議員の賛否が入り混  
じり、多数決で継続審  
査となった。

議案等の議決結果

議案番号	件名	議決結果		多	横	藤	山	森	島	茅	石	盆	藤	土	田	山	永	福	河
				田	田	間	根	脇	田	島	橋	子	田	井	中	本	岡	原	野
				伸	省	義	兼	悦	修	昇	孝	原	厚	正	直	誉	静	昭	正
				治	吾	明	郎	朗	二										
報告第5号	専決処分報告について（7/1専決第7号損害賠償の額の決定及び和解）	7月25日	報告																△
承認第5号	専決処分報告について（7/1専決第6号一般会計補正予算（第3号））	〃	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
承認第6号	専決処分報告について（7/12専決第8号一般会計補正予算（第4号））	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
承認第7号	専決処分報告について（7/16専決第9号功労者の選定）	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
議案第57号	工事請負契約の締結について	〃	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
報告第6号	平成24年度島根県江津市公共下水道事業特別会計継続費精算の報告について	9月2日	報告																
承認第8号	専決処分報告について（8/12専決第10号）	〃	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第4号	教育委員会委員の任命について	9月20日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第60号	新市建設計画の変更について	〃	〃	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第62号	平成25年度島根県江津市一般会計補正予算（第6号）を定めることについて	〃	〃	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第63号	平成25年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）を定めることについて	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第64号	平成25年度島根県江津市国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第1号）を定めることについて	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第65号	平成25年度島根県江津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）を定めることについて	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第66号	平成25年度島根県江津市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）を定めることについて	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第67号	平成25年度島根県江津市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）を定めることについて	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長
議案第68号	平成25年度島根県江津市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）を定めることについて	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第69号	平成25年度島根県江津市水道事業会計補正予算（第2号）を定めることについて	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第70号	激甚災害に伴う農地及び農業用施設の小災害復旧事業分担金徴収条例の制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第71号	平成25年度島根県江津市一般会計補正予算（第7号）を定めることについて	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第72号	平成25年度島根県江津市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）を定めることについて	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第73号	平成25年度島根県江津市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）を定めることについて	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第74号	平成25年度島根県江津市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）を定めることについて	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第75号	平成25年度島根県江津市水道事業会計補正予算（第3号）を定めることについて	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○ 賛成 ● 反対 △ 欠席 斥 除斥



### 議案第 60 号 新市建設計画の変更について

#### 反対討論

**多田** 計画期間が平成 31 年度までとなっているが、「目標人口は、平成 26 年度に 27,500 人と設定」と意味不明。しかも、「実現する・しないは別として、今後も目標として取り組む」「責任を取る・取らないの問題ではない」と無責任な答弁もあり、目標のない計画は計画とは言えない。

本市の最重要課題は過疎対策であり、目標達成のための施策が必要。人口減が続けば、市の財政にも悪影響が出る。他自治体で成果を上げる「住宅リフォーム助成制度」「子どもの医療費無料化」など積極的な施策で、責任を持って過疎を打開する計画に変更すべきであり反対。

#### 賛成討論

**島田** このたびの変更は、東日本大震災の発生を受けた法改正により、合併特例債の起債期限が 5 年間延長となったことに伴い、新市建設計画の計画期間をこれまでの平成 26 年度までを平成 31 年度までとする期間の延長と、防災減災対策の推進に関する文言を追加し、桜江の消防庁舎建設事業を計画中に記載等するもので、防災減災対策について、執行部より「今後も柔軟に対応し必要なものは、しっかりと対応する」との答弁があり、それを評価し賛成する。

### 議案第 62 号 平成 25 年度島根県江津市一般会計補正予算（第 6 号）を定めることについて

#### 反対討論

**多田** グループホーム整備の補助金に関連して、利用料をただと「数字は出せない」と答弁。補正予算を判断するに足る情報がない。このような答弁は議会軽視。

移動販売車購入への補助金では、競合する中山間地域の小売店に対し「商業努力をしなければならない」と不十分な過疎対策への行政の責任を、小売店の自己責任に転嫁。移動販売は必要な事業だが、導入がこのような考え方に立脚しているのは行政として無責任。

スクールソーシャルワーカー活用事業では、執行部も必要としているのに「県が補助金を減額したので事業費を減額」と答弁。不登校の児童・生徒へのケアを行う大事な事業であり、必要な予算を市が補てんするのが本来の補正予算。以上の 3 点を理由に反対。

#### 賛成討論

**藤間** 地域の元気臨時交付金の活用や、済生会江津総合病院への地域医療支援対策など、必要な補正。「商業活性化支援事業」では、移動販売車の取得を補助し中山間地域の利便性向上を図り、空き店舗活用事業で商業活性化への布石となる。「地域医療等支援対策事業」は、経営難となっている済生会江津総合病院の経営基盤強化を図るため不可欠。財政状況は厳しいが、地域の元気臨時交付金の活用や、地域医療対策・産業支援に重点を置き、今後の市政推進に必要な予算であり賛成。



# 市民の声を行政に問う

※原稿は質問した議員自身が要旨をまとめたものです。

## 今後の防災減災対策は

市長／安心・安全のため取り組む

### 災害対策



森脇悦朗

**問** 災害発生後の被災者に対する支援や外部支援の状況は

**答** 孤立地区の解消か

**問** 被災者が普通の生活に戻るための行政支

**答** 国、県の支援について、特に人員、専門職員や測量コンサル社員の派遣をお願いしている。激甚災害指定も閣議決定の見通しであり補助率に上乘せがあり復旧に弾みがつく。また、災害救助法の適応を受け内容を十分精査して対応していく。

**問** 河川改修がなされたところで水害となつた。今後の防災、減災対策についての見解は。

**答** 今回の異常ともいえる気象状況を想定し、地域防災計画の見直しを行う。また、防災行政用無線や防災メー

**問** これから本格化する被災施設の復旧について、財源の支援を含めて今後の対応は。

**答** 本庁舎、桜江支所のほか有福温泉・跡市公民館に被災者支援窓口を設置した。崩落土砂等撤去費補助金、自家用水道施設災害復旧工事費補助金交付要綱を制定した。このほか市県民税、固定資産税、保育料の減免についても早期に対応していく。

**問** 内閣府通知は「浸水により畳が浸水し、壁の全面が膨張しており、さらに浴槽などの水回りの衛生設備等に

**答** 被災者救済の視点から、内閣府通知に基づいて調査している。

**問** 総合的にと言うなら、30〜45億円もする西部小学校の新築など、施策を考え直すべき。

**答** 災害復旧と他の事業は財源が別。特に小学校建設は体育館の耐震化のため進める。

らゴミ対策、防疫、公衆衛生対策、要援護者の支援、健康チェック、食事の確保などに対応した。社協による災害ボランティアセンターの立ち上げや県から救援物資の提供、他市から給水隊の派遣など対応してもらった。

**問** 適切な被災者支援がないと、人口流出につながる。税・保険料・水道料・保育料・給食費・子どもの医療費など、負担減免にもっと踏み込むべき。

**答** 総合的な観点から施策を講じる。負担をゼロにすることは考えていない。

**問** 出雲市は平成18年の災害で、農地の小規模復旧を、市民負担ゼロにした。同様の減免を。

**答** 既存の制度があれば考慮する。利子については、担当部局と相談し制度設計する。

**問** 被災者の負担を増やすべきではない。ごみ袋・ごみ券や桜江町での水道料金の値上げについて再考を。

**答** 災害復旧とそれ以外を一緒に考えることはしない。

## 災害対策

### 被災者の負担減免を

市長／受益者負担ゼロは考えていない



多田伸治



床がめくれ上がった川平公民館

**問** 出雲市の判断は知らない。負担をゼロにする考えはない。

**問** 被災した事業所への支援が必要。補助金や無利子での融資など制度創設

**答** 被災した事業所への支援が必要。補助金や無利子での融資など制度創設

**問** 被災者の負担を増やすべきではない。ごみ袋・ごみ券や桜江町での水道料金の値上げについて再考を。

**答** 災害復旧とそれ以外を一緒に考えることはしない。



# 行政視察報告

※各参加議員の報告書は  
市議会ホームページで  
ご覧いただけます。

## 総務文教委員会

7月29日

### 【岐阜県美濃市】

◆**地域づくり支援事業**  
地域住民自らが取り  
組む地域づくり事業に  
対し財政支援を住民  
税の1%にあたる2,  
100万円を予算化  
し、中学校区内に3つ  
の「地域づくり委員会」  
を設置して実践してい  
る。主な事業は、「美  
濃和紙に関する苗を植  
え育てよう事業」「よ  
もやま見聞録を作成し  
地域の歴史を調べ、一



美濃市のまちづくり現地視察

冊に創刊」「サイクリ  
ングコース景観整備事  
業」など。

### ◆サイクルシティ

構想プロジェクト  
普段の生活の中に自  
転車や電動アシスト自  
転車、超小型EVなど  
の環境にやさしい移動  
手段を取り入れ※コ・  
モビリティ社会を目指  
すとともに健康増進を  
図り、これらを活用し  
た観光の振興を推進す  
るもの。

7月31日

### 【岐阜県瑞浪市】

### ◆夢づくり

### 地域交付金事業

地域住民で構成され  
た「8つの地区まちづ  
くり推進協議会」に対  
し「夢づくり交付金」  
で、支援を行うもので、  
通常事業とステップア  
ップ事業がある。通常  
事業は基金を造成する  
こともでき、ステップ

アップ事業は地域が継  
続的に実施する通常事  
業を向上させるもの。

8月6日

### ◆日本一の

### 子育て村構想

平成24年での18歳以  
上の人口1,660人  
を平成33年に1,800  
人にすることを目指す  
もの。中学校卒業まで  
の子ども医療費無料化  
や第2子からの保育料  
の無料化、予防接種費  
用の全額助成・不妊治  
療の助成など、子育て  
に関する思い切った  
施策を、年間予算5,  
000万円を上限に展  
開している。

## 建設厚生委員会

8月5日

### 【岩手県花巻市】

### ◆企業誘致の取り組み

について

花巻市は誘致する企  
業の多様化したニーズ  
に対応して、いち早く  
誘致戦略を転換し、誘  
致企業にたよらず地元  
企業を育成する「内発  
型振興策」を展開した。  
従来の工業団地を中心  
とする大規模製造業の  
誘導から、※インキュ  
ベート施設として、レ  
ンタル工場の整備を行

### ※コ・モビリティ社会

子供からお年寄りまですべての  
人が、自由に安全に移動ができ、  
交流が容易で暮らしやすい創造  
的・文化的な社会。



花巻市企業活性化センターを視察

い、「花巻市起業化支  
援センター」や「花巻  
市賃貸工場」を運営。  
様々な助成、支援

を積極的に進める中  
で、市が整備した14の  
工業団地において7つ  
は100%の分譲率で  
64の企業が立地してい  
る。

本市においても総務  
大臣表彰されたビジネ  
スプランコンテストに  
よる起業支援やポリテ  
クカレッジ島根の施設  
等の有効活用策など、  
内発型振興策について  
の検討が求められてい  
る。そのためには交  
通インフラの早急  
な整備も必要であ  
る。

8月6日

### 【青森県六ヶ所村】

### ◆国際核融合

### エネルギー

### 研究センター

未来のエネルギ  
ーとして、日本と  
欧州連合が共同で  
実現化への道とし  
て、持続的な核融

合発電の実証に向けて  
ITER（国際熱核融  
合実験炉）計画が進め  
られている。

実用化までには数十  
年の月日を要するとい  
われているが、今後も  
関連の研究施設が必要  
となっており、土岐市  
の核融合科学研究所と  
の関係を維持しながら、  
研究施設の誘致に  
ついて研究したい。

他にも六ヶ所村次世  
代エネルギーパークに  
おいて「六ヶ所原燃P  
Rセンター」「(株)トヨ  
タフューリテック」を  
見学した。

### ※インキュバート

新しい産業への進出を目指す中  
小企業に建物・設備を賃貸し、経営  
指導などを行いながら地域の先  
導的企業として育成していく。



## 第8回全国市議会議長会

## 研究フォーラム in 旭川

「議会の機能強化に向けて研修」

7月10・11日に、北海道旭川市で開催された研究フォーラムに、全国から約2,700人を超える市議会議員が集まり、本市議会からも9人が参加しました。

第1部の基調講演では「地方議会改革」として、西尾勝氏（後藤安田記念東京都市研究所理事長）から、「開かれた議会、討論する議会、行動する議会」を目指す議会基本条例の制定運動を評価した上で、地方議会改革について、短期、中期、長期の課題に分けて問題提起をされました。江津市議会においても、議会基本条例の制定に向けて、すでに5年の歳月を費やし、協議検討しているところであり非常に関心を



持って聞きました。

第2部では「住民自治の実現と地方議会への期待」と題して、パネルディスカッションが行われました。

「地方議会こそ『住民参加』のための装置であるが機能しているのか。」「議会がどんなに仕事をして、住民に伝わらなければ意味がない。」「情報の『提供』でなく『共有』ができていくか。」「情報共有により政策のサイクルをつくる。新たな

※各参加議員の報告書は市議会ホームページでご覧いただけます。

参加、アイデアの提供を促す。」など具体的

な話で大変参考になりました。今後、いかに市民の皆さんと議会のつながりをつくるかが課題と思います。

## 議長室に絵画を寄贈

和木町出身の画家 佐々木信平さん

和木町出身の画家で社団法人「紀会の常任理事を務める佐々木信平さんから、ご自身が制作された絵画を議会に寄贈していただきました。「風羽織」といっ

タイトルで170×140のキャンバスに女性を描いた大作です。貴重な財産として議長室に飾らせていただきます。



## 江津市音頭パレードに参加



にぎやかに繰り広げられた第30回江の川祭

## お知らせ

## ○次回定例会日程

12月5日(木)から

12月19日(木)までの

予定です。

## ○請願・陳情の

受付について

請願書及び陳情書の

受付は、本会議初日の

8日(木)の午前中まで

です。

〔例〕12月定例会では、

11月27日(水)の午前

中まで」となります。

それを過ぎますと、

次回定例会(3月定例会)

に付託・審議される

こととなります。

## 編集後記

この度の豪雨により被災されました皆様に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

今回の議会は、豪雨災害の対応を執行部に最優先して頂くため、一般質問や決算認定など日程調整しました。本来ですと一般質問も数名の議員が致しますが、2人に絞り、なお且つ、決算認定も閉会中の審査として、配慮して、日程を災害対応して頂きました。議会としましても災害の早い復旧・復興を願っています。

(藤田 厚)

## 編集・発行責任者

議長 河野 正行

議会広報・情報公開  
対策特別委員会

委員長 島田 修二

副委員長 横田 省吾

委員 多田 伸治

委員 藤間 義明

委員 山根兼三郎

委員 藤田 厚